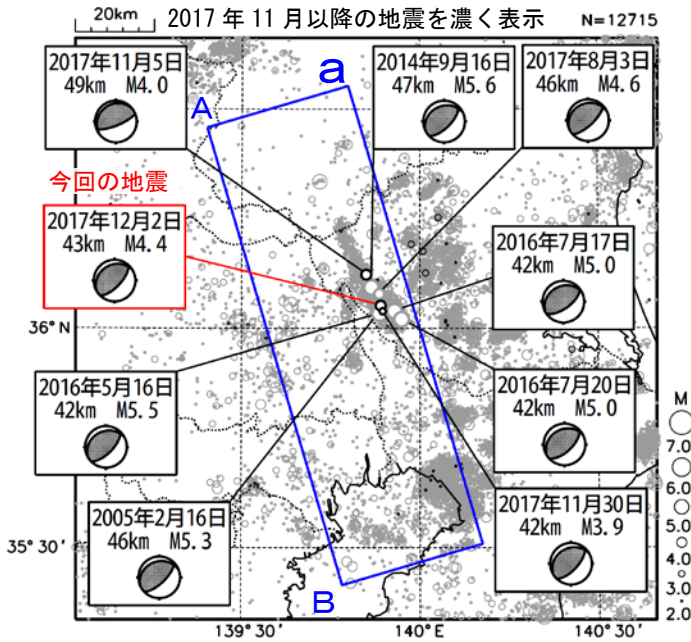


12月2日 茨城県南部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2017年12月3日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

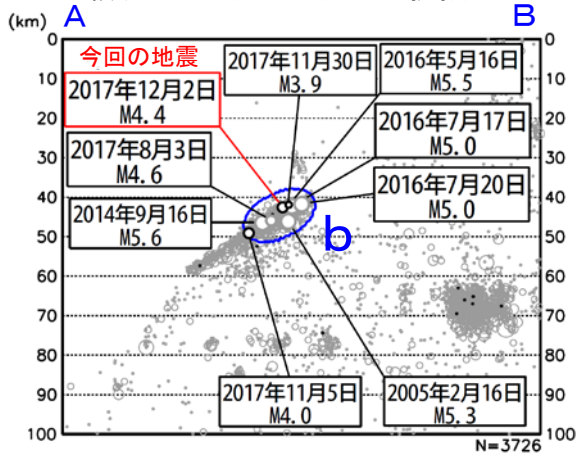


2017年12月2日00時12分に茨城県南部の深さ43kmでM4.4の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。今回の地震の震源付近で、11月5日と30日に、それぞれM4.0とM3.9の地震(いずれも最大震度3)の地震が発生している。

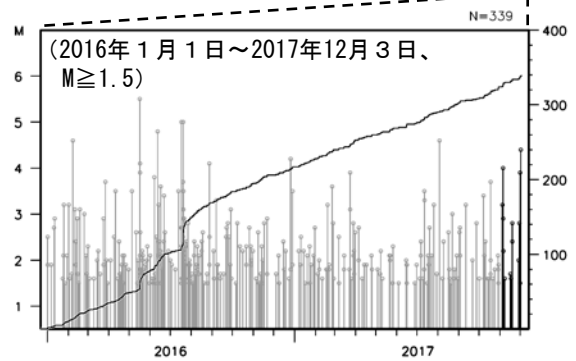
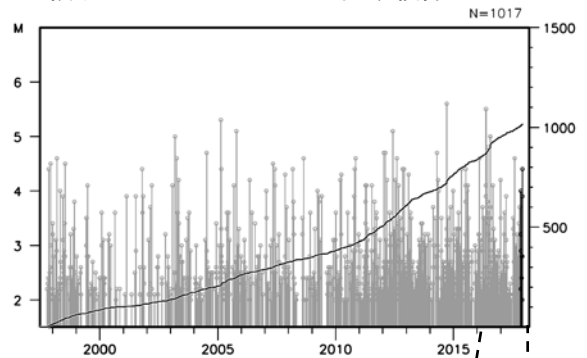
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、活動が活発な領域で、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、今回の地震の発生場所の近くで、2014年9月16日にM5.6の地震(最大震度5弱)が発生している。また、最近では、2016年7月17日と20日にいずれもM5.0の地震(最大震度4)が発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

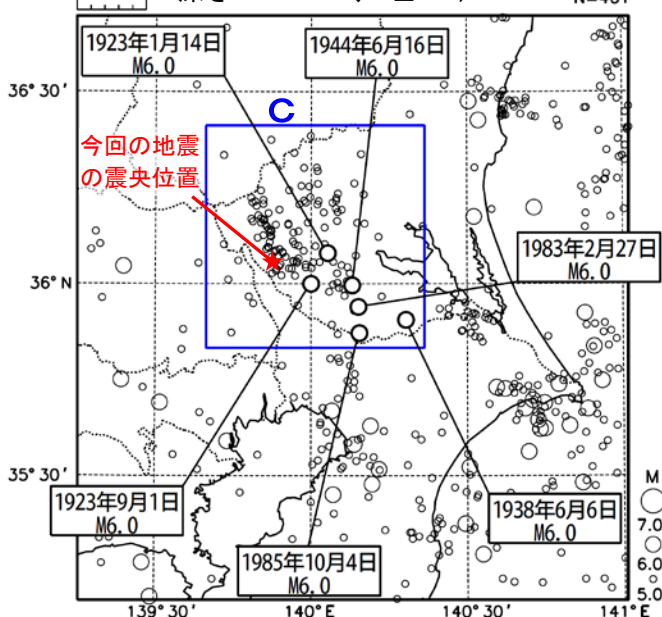


領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

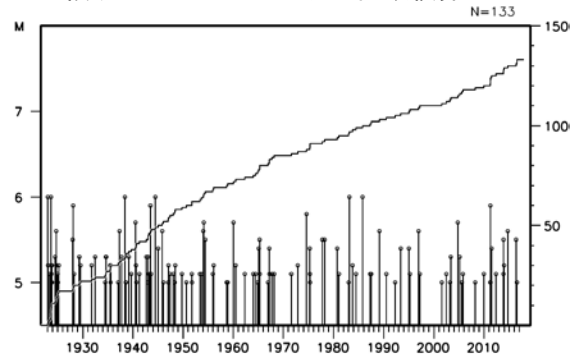


震央分布図

(1923年1月1日～2017年12月3日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

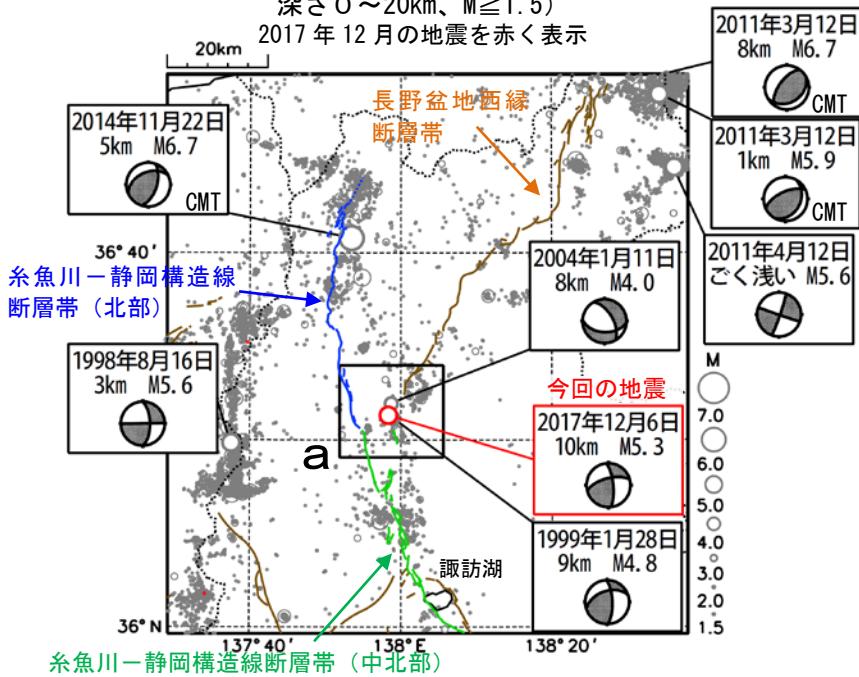


領域 c 内の M-T 図及び回数積算図



12月6日 長野県中部の地震

震央分布図
(1997年10月1日~2017年12月6日、
深さ0~20km、M \geq 1.5)
2017年12月の地震を赤く表示

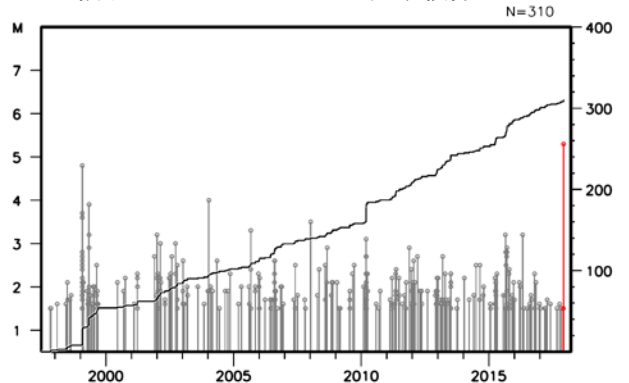


2017年12月6日00時13分に長野県中部の深さ10kmでM5.3の地震（最大震度4）が発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震は、地殻内で発生した。

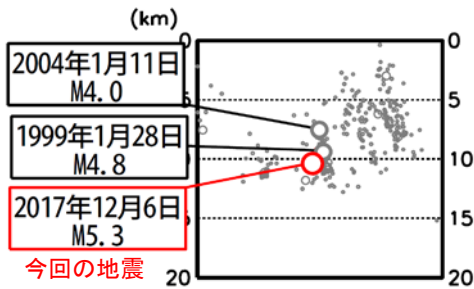
今回の地震は糸魚川-静岡構造線断層帯（中北部）の北端部付近に位置している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、M3.0~4.0程度の地震がしばしば発生しており、今回の地震の発生場所の近くで、1999年1月28日にM4.8の地震（最大震度4、住家一部破損3棟などの被害（総務省消防庁による））、2004年1月11日にM4.0の地震（最大震度4）が発生している。

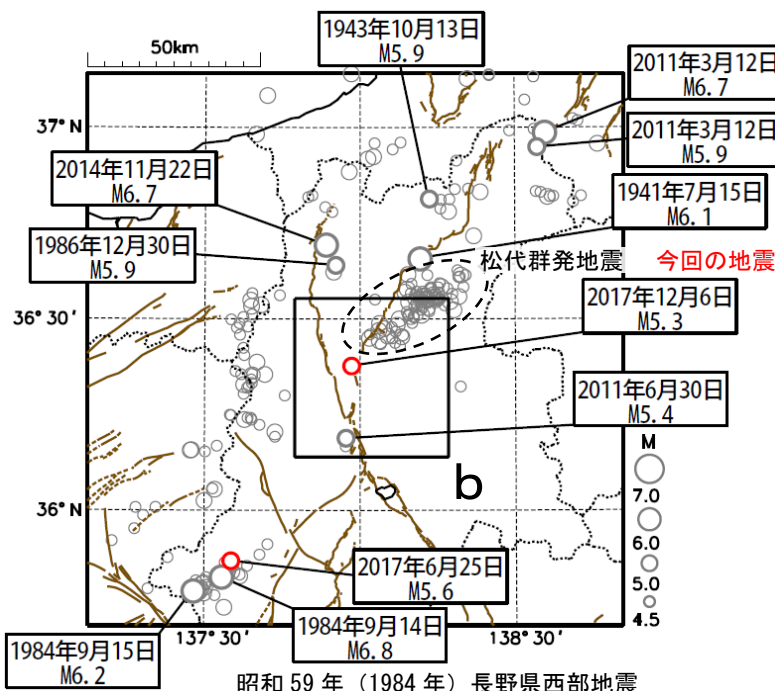
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域a内の断面図（東西投影）

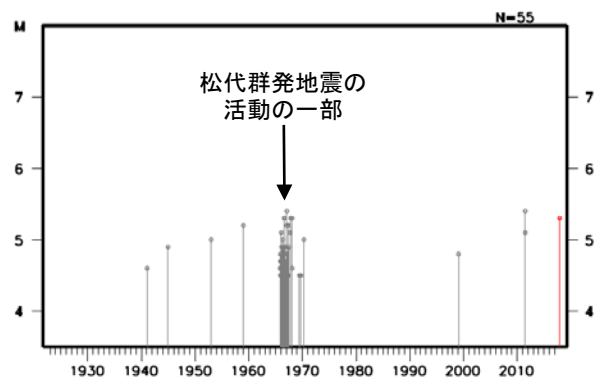


震央分布図
(1923年1月1日~2017年12月6日、
深さ0~40km、M \geq 4.5)
2017年の地震を赤く表示



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央の周辺（領域b）では、震央の北東側で松代群発地震が発生しているほか、M5.0程度の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図



昭和59年（1984年）長野県西部地震

気象庁作成